

事務事業ID	0167	事務事業名	大船渡市遺族会運営支援事業	
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等				
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成7年度当時、県内の遺族会組織全体で、市町村への遺族会事務移管の動きがあり、当市においても大船渡市遺族会から市への事務局移管の要望を受けた。一時は移管を受けない方向での検討もなされたようだが、他市町村の殆どが事務局移管を受けるに至ったことから、最終的に事務局移管を受け入れることとなり、市援護担当課(当時:福祉事務所)に事務局を置くことになった。				
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 戦後60年が過ぎ、遺族も高齢化している。				
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。				
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価				
目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 意図することは、上位施策のどの項目にも該当しない。	
	② 公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 団体の活動内容は、各種慰靈行事に参加し、戦没者を慰靈することと、独自で研修等を実施し、会員の親睦を深めることが主な目的となっている。今後、市として税金を投入して行うべき事業かどうかを改めて検証する必要がある。	
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・遺族会の会員は戦争の犠牲となった方の遺族に限定されており、対象を拡大させる余地はない。 ・団体の事務局業務のため、意図の拡充余地はない。	
	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事務局業務として成果を向上させる余地は少ない。	
	有効性評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 団体は、①民間に委託する。②自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。といった選択を迫られることとなる。
		⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ①民間に委託する。②自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ①民間に委託する。②自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市としての負担(支出)が伴わないと、事業費はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ①民間に委託する。②自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。といった方法が考えられる。	
公平性評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 事業は会費のみで運営されているが、事務局職員の入件費360時間分は一般財源であり、自主運営している他の任意団体との公平性に欠ける。	

事務事業ID 0167

事務事業名 大船渡市遺族会運営支援事業

3 評価結果の総括と今後の方針(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
<table border="1"> <tr><td>① 目的妥当性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>② 有効性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>③ 効率性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>④ 公平性</td><td><input type="checkbox"/> 適切</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> </table>	① 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	遺族会だけが市の支援を受けて活動するのは、他の類似団体(黄菊会、英靈にこたえる会、傷痍軍人会など)が自主運営していることを考えると、公平性に欠ける面がある。また、県内市町村のうち市が事務局を持っていいる遺族会は13市中、4市であり、見直しの余地があるものの、遺族会との調整が必要であることから、現時点では現状維持とする。							
① 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
④ 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																		
(3) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																				
(上記方向性に対する具体的な内容) 遺族会の存在意義と社会情勢を照らし合わせ、当面は現状維持とするが、将来的には市で行っている事務局業務を見直しする必要がある。 ①民間に委託する。②遺族会で自主運営する。③団体を解散し、各地区単位(旧町単位)の活動とする。 といった方法が考えられる。																				
(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成績</td> <td>●</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	向上				成績	●	×		低下	×	×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
成績	●	×																		
低下	×	×	×																	
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																				
遺族会が市の支援を受けて活動するのは、他の類似団体(黄菊会、英靈にこたえる会、傷痍軍人会など)が自主運営していることを考えると公平性に欠け、納税者の理解が得られない。また、政治活動や選挙運動を行う団体の事務局業務を行うのは、例え活動自体に参画しなくとも、住民からは団体と市が同一視されることが懸念され、職員の服務の取り扱い等においても難しい面がある。したがって、団体事務局の移管を含めて行政改革推進委員会等でさらに検討したうえ、将来的には事業を廃止すべきと考える。																				

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

地域福祉課長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- 記述不足でわかりにくい
 一部記述不足のところがある
 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
 一部に客観性を欠いたところがある
 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

適切な事務執行がなされている。
 (事務局の自主運営等、見直しの余地はあるものの会員が高齢化しており難しいと思われる)

(4) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- 廃止 休止 目的再設定 事業統合・連携 現状維持
 事業のやり方改善 (有効性改善 効率性改善 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

遺族会に関連する事務局機能であり、今後も、高齢化している遺族の支援策として継続する必要がある。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
成績	●	×	
低下	×	×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項